

高齢者のアセスメント（生活歴）

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

介護保険のケアプランを作成するに当たっての流れは、何かの方式によるアセスメントを実施し、その中から問題点を見つけ、課題へと移行し、ケアプランの作成となり、サービス実施へと行って行くことが、通常の過程です。その過程において、その対象者の生活歴をどう捉え、どう考えていくかが必要となってきました。

現在のケアプランの作成において、生活歴の捉え方が弱いのが現状であり、問題点の整理にも影響があることが多いようです。

介護保険の目的である対象者の尊厳を考えると、当然その人の生きた過程を理解することは当然です。

現在行っている生活歴のまとめ方に少し工夫をした整理方法を、次のとおり表にまとめましたのでご紹介します。

生活歴の基礎資料（1）

（好きなもの）	過 去	現 在	留 意 事 項
歌			
色			
時代			
服			
履物			
食べ物			
菓子類			
飲み物			
テレビ番組			
植物			
動物等			
味			
雑誌類			
一日の好きな時間			
人間			

季節によって変わるものもありますので注意してください。

生活歴の基礎資料（2）

（知っておくと良いもの）	過 去	現 在	留 意 事 項
歯			
髪			
方言			
出身地			
長い生活場所			
購読新聞			
趣味			
夢			
特技等			
過去の職業等			
旅行			
外出（買い物等）			
宗教等			
飼っている動物			
生育させている植物			
過去に一番良かった			
過去に一番悪かった			
身長			
体重			
脈			
体温			
血圧			
言葉の速度			
言葉の大きさ			
起きる時刻			
寝る時刻			
昼寝の時刻			
体を動かす時刻			
現在一番楽しいこと			
現在一番悲しいこと			

生活歴を聞くにあたっては、
時間 天気 場所 同席者 などを考えることが必要
です。

なお、必要に応じて修正、追加すれば、長く利用でき、適正な内
容になっていきます。